



「新渡戸稲造記念センター」設立に寄せて

中野総合病院 事務局長

横井 悟

Nitobe Inazou Symposium

第2回 **新渡戸稲造シンポジウム**
～「新渡戸稲造記念センター」開設記念～



2019年4月、東京医療生活協同組合に「新渡戸稲造記念センター」が開設されました。
「新渡戸稲造記念センター」開設を機に、当院の理念が「新渡戸稲造博士の精神（誠意と思いやりの心）を基にした医療を誠実に実践し、疾病を抱えた人を真心で支援する」であることを、改めて自覚し、新渡戸稲造博士の精神・行動・人間像をより多くの人々に伝えたいという思いで「第2回新渡戸稲造シンポジウム」を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日 2019年8月18日(日)
14時～(受付開始 13時30分～)

参加費 無料
定員400名

会場 中野サンプラザ 13階
「コスモルーム」
中野区中野4-1-1 ☎03-3388-1151



講演Ⅰ **新渡戸稲造が遺したもの**
茂里一弘 先生 (東京女子大学学長)

講演Ⅱ **新渡戸稲造先生の贈り物**
宗雪雅幸 先生 (恵泉学園理事長)

講演Ⅲ **21世紀の新渡戸稲造**
～がん哲学外来の心得～
樋野興夫 先生 (東京医療生活協同組合 新渡戸稲造記念センター長)

2019年4月、東京医療生活協同組合に「新渡戸稲造記念センター」が設立されました。「新渡戸稲造記念センター」は、東京医療利用組合（現・東京医療生活協同組合）の初代組合長（理事長）である新渡戸稲造博士の志を日本の国内外へ広め実践する拠点となります。

新渡戸稲造博士が志を託された当院は、平成27年10月に「新渡戸稲造記念中野総合病院」へと名称を変え、理念を「新渡戸稲造博士の精神（誠意と思いやりの心）を基にした医療を実践し、疾病を抱えた人を真心で支援する」としました。この度「新渡戸稲造記念センター」を設立することは、当院の歴史に残る道標として画期的な出来事です。そして「新渡戸稲造記念センター」のセンター長には、新渡戸稲造博士の専門家の第一人者である順天堂大学名誉教授の樋野興夫先生が就任されました。就任後、樋野先生は精力的に当院において「がん哲学外来」を開催していただいています。

また、2019年8月18日には中野サンプラザに於いて「第2回新渡戸稲造シンポジウム～新渡戸稲造記念センター開設記念」を開催いたしました。35度を超える猛暑の中にも係わらず、約200名の方にご参加を頂きました。シンポジウムでは、樋野センター長が最後に「21世紀の新渡戸稲造～がん哲学外来の心得～」を講演し、「いま再び新渡戸稲造。彼は医者ではないけれども医療組合を創った。医療の世界でも教育の世界でも、そのモデルは明治以降、新渡戸稲造に勝る人物はいません」と結ばれました。東京医療生活協同組合は「新渡戸稲造記念センター」を開設してまだ日が浅いですが、樋野センター長を迎えたことにより当院の理念の実現とより高みを目指していけるものと確信しています。

新渡戸記念中野総合病院

中野区中央4丁目59-16
(JR 中野駅南口徒歩4分)

「第3回日本メディカル・ヴィレッジ学会」について

みどりの杜病院 院長

原口 勝

「治らなくても支え合う市民の力」をテーマに2020年10月24日(土)の午後、福岡県南部の八女市で開催を予定しています。

福岡ホスピスの会というボランティアの団体があります。福岡県内の緩和ケア病棟でボランティア活動を行っていますが、代表の柴田須磨子さんが、2016年度から会の活動の中心に、がん哲学外来「ぬくみカフェ」を据えました。私はその顧問を務めています。同じような立場の人の支え合いには多大な効果や力強さがあります。樋野興夫先生には毎年福岡に来ていただいて、がん哲学外来の種を蒔き、我々が頑張れるように水を注いでいただいています。

私は、八女市に在る公立の完全独立型ホスピス「みどりの杜病院」で在宅ホスピス医として勤務していますが、病院には他に3人のホスピス医が勤務し、30床の入院診療を行っています。同じ経営母体である公立八女総合病院（がん拠点病院）に出向いて緩和ケア外来を行い、がん治療医と共に診て、症状を緩和したり、療養の場所の相談に乗っています。在宅とホスピスの間で行き来ができ、切れ目なく緩和ケアが受けられる環境があります。

がんカフェやがんサロンなど市民の支え合いの芽も伸びてきましたので、メディカルヴィレッジ学会の開催が、がんになっても心安らかに暮らせる場所作りを促し、その効果を発信することになると期待しています。会場は750席あるので申し込みは不要です。皆様のご参加をお待ちしています。

第3回 **日本メディカルヴィレッジ学会 in 八女**
～治らなくても支え合う市民の力～



とき 2020年10月24日(土)
13:15～16:00

会場 八女市民会館「おりなす八女」
ハーモニーホール
〒834-0031 福岡県八女市本町 602-1

入場無料

通える間は外来で緩和ケア、通えなくても自宅や施設で緩和ケア、ホスピスに入っても在宅に居られる緩和ケア、そういう切れ目ない緩和ケアを身近で受けることができれば・・・

治らない病気を抱えていても、共に支え合う場があります。
「ゆっくり話を聞いてもらえてよかった」
「家族にも話さないことを話そうとできた」
「自分だけでなく自分が分かった」
「ここにきて元気ももらった」

八女に集い、治らなくても心安らかに暮らせるためのヒントを交換しませんか？

特別講演
「病気であっても病人ではない」
～がんと共に生きる～
樋野 興夫 順天堂大学名誉教授
がん哲学外来理事長
新渡戸稲造記念センター長

基調講演
「がんになっても心安らかに暮らせる場所とは？」
～切れ目ない緩和ケアと市民の支えあい～
原口 勝 (みどりの杜病院 院長)

パネルディスカッション
「ホスピスにおけるボランティアの活動報告」 永松美穂子 (みどりの杜病院 ボランティアコーディネーター)
「在宅ケアにおける遺族カフェの活動報告」 松崎 里恵 (八女保健訪問看護ステーション管理者)
「地域サポーターの取り組み」 石橋あかね (柳川市 長田病院 看護部看護長)
「がんサロンちっご虹の会の活動報告」 杉本 真理 (がんサロンちっご虹の会 会長)

【問い合わせ先】 みどりの杜病院 Tel 0943-23-0002 Fax 0943-23-0012 福岡県八女市立野 362 番地 1
主 催：みどりの杜病院/日本メディカルヴィレッジ学会 共 催：八女筑後医師会